

古墳時代の大刀



御崎山古墳獅嚙環頭大刀



高広Ⅳ区1号横穴双龍環頭大刀（復元）



白コクリ S-2 号横穴墓単鳳環頭大刀



岡田山1号墳銘文入り大刀

平成 29 年 12/23 土
→ 平成 30 年 2/25 日

島根県立八雲立つ風土記の丘

〒690-0033 島根県松江市大庭町456
TEL 0852-23-2485 FAX : 0852-23-2429
<http://www.yakumotaru-fudokinooka.jp>

開館時間 午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）
休館日 火曜日、年末年始は12月29日～1月1日まで休館
（但し1/2は開館）
入館料 一般200円（160円）大学生100円（80円）
小中高生 無料※（）内は20名以上の団体

古墳時代の大刀

古墳時代、大陸から煌びやかな文化が到来しました。その中の一つに大刀があります。装飾付大刀は金や銀などで飾られた大刀で、豪族の権威の象徴でした。この大刀の形式には、中国や朝鮮半島製の系譜を持つ舶載系と、日本の伝統的な大刀の系譜の倭系のものに大きく分けることができますが、近年、詳細な形式の分類や所持した豪族との関係性などについて研究が進められています。今回は金銀で飾られ、緻密な装飾を施された豪勢な大刀を紹介します。



高広IV区2号横穴双龍環頭大刀柄頭



岡田山1号墳三葉環頭大刀柄頭



岡田山1号墳銘文入大刀柄頭

風土記の丘教室

時間：14：00～ 資料代：200円 会場：ガイダンス棟

- 1月13日(土)「古墳時代の装飾大刀が語るもの」
講師 大谷晃二氏(島根県立松江北高等学校教諭)
- 2月10日(土)「出雲東部の古墳」
講師 池淵俊一氏(島根県埋蔵文化財調査センター)
- 3月18日(日)「考古学からみた出雲と朝鮮半島」
講師 平郡達哉(島根大学法文学部)

シンポジウム

- 3月17日「黄泉国訪問譚と古墳時代出雲の葬制—考古学・地質学・歴史学のコラボレーション—」
時間：13：30～16：30 **入場無料**
会場：島根県立八雲立つ風土記の丘ガイダンス棟
古谷毅(東京国立博物館)「考古学と学際的研究」
岩本崇(島大法文学部)「出雲型石棺式石室の成立と展開(仮題)」
高橋周(出雲弥生の森博物館)「黄泉国訪問神話」と古代の他界観(仮題)
亀井淳志(島大総合理工学部)「出雲における横穴式石室・石棺式石室石材の化学分析」(仮題)
主催：島根大学萌芽研究プロジェクト・朝日新聞文化財保護助成事業・島根県立八雲立つ風土記の丘

◇イベント案内

- オリジナル絵馬づくり
日時：平成30年1月2日(火)～5日(金)
費用：200円 ※無くなり次第終了
会場：八雲立つ風土記の丘展示学習館
- 七草がゆを食べよう! **要申込**
日時：平成30年1月7日(日)9：30～12：00
費用：200円
集合：八雲立つ風土記の丘展示学習館ロビー
準備品：散策できる服装、防寒具
定員：20名(要申込)
- 意宇六社めぐり(友の会行事) **要申込**
日時：平成30年1月28日(日)9：00～16：00
費用：友の会会員 5,000円 一般 5,200円(昼食代含む)
定員：20名(要申込)
集合：八雲立つ風土記の丘展示学習館駐車場
準備：正装、歩きやすい靴、防寒具(マイクロバス利用です)
- 月山富田城登山会(友の会行事) **要申込**
日時：平成30年3月24日(土)13：30～15：30
費用：300円
定員：20名(要申込)
集合：道の駅広瀬富田城前(安来市広瀬町町帳775)
準備：動きやすい服装、雨具、飲み物

島根県立八雲立つ風土記の丘

(指定管理者：公益財団法人しまね文化振興財団)

〒690-0033 島根県松江市大庭町456
TEL 0852-23-2485 FAX：0852-23-2429
<http://www.yakumotatu-fudokinooka.jp>

開館時間 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
休館日 火曜日、年末年始は12月29日～1月1日まで休館
入館料 一般200円(160円) 大学生100円(80円)
小中高生 無料※()内は20名以上の団体